

## 千葉市美術館企画展「生誕100年 清水九兵衛／六兵衛」を開催します ～彫刻家と陶芸家2つの顔をもつ立体造形作家、初の回顧展～

千葉市美術館では、企画展「生誕100年 清水九兵衛／六兵衛」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展は、清水九兵衛の名で戦後の抽象彫刻を牽引する一方、京都を代表する京焼の名家として七代清水六兵衛の名で陶芸界に新風をもたらした作家を紹介する初めてとなる回顧展です。

開催に先立ちまして、4月12日（火）15：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しく下さい。

- 1 会期** 令和4年4月13日（水）～7月3日（日）  
休館日 5月2日（月）、6月6日（月）  
※休室日 5月23日（月）、6月20日（月）
- 2 会場** 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催** 千葉市美術館、京都国立近代美術館  
**協力** 株式会社キヨロク

### 4 ポイント

#### ◆陶芸、彫刻の分野で活躍した清水九兵衛／七代清水九兵衛、国内初の回顧展

清水九兵衛またの名を七代清水六兵衛は彫刻家と陶芸家の二つの顔をもち、建築や陶芸、クラフトデザイン、彫刻といった多領域で活動しました。

本展は、彫刻53点、陶芸72点と、制作過程の図面、マケット（模型）、写真作品など関連資料約40点による約170件で半世紀にわたる多様な活動を回顧する初めての展覧会です。

#### ◆京都を代表する京焼の名家としての七代清水六兵衛

1951年に清水家の養嗣子となった清水九兵衛／七代六兵衛は、それ以前に学んでいた鑄金の造形意識を生かした清新な作風により、1950年代から60年代半ばにかけて日展のホープとして活躍していました。その後、陶土の質感への違和感から60年代末に彫刻制作の道に進みますが、1980年に六代清水六兵衛の急逝を受け、七代清水六兵衛を襲名します。今回は、展覧会を準備する中で新たに発見された資料も含め、現存する代表作品を可能な限り集めた貴重な機会となります。

#### ◆戦後彫刻を牽引する存在としての清水九兵衛

1966年に初めて発表した真鍮の作品から代名詞ともなった1970年代のアルミニウムによる彫刻まで、清水九兵衛は一貫して金属による抽象彫刻を手掛け、「彫刻の森美術館大賞展」、「神戸須磨離宮公園現代彫刻展」、シドニービエンナーレなどに出品するなど国内外で彫刻作品を発表しました。本展では、彫刻家としての初発表作品から最晩年の大型彫刻、資料などを展示、抽象彫刻の第一人者としての清水九兵衛を知る機会となります。

#### ◆千葉市とも関係が深い作家

清水九兵衛は、1942年に徴兵され、沖縄線の最前線にて本隊が全滅するなか捕虜となり奇跡的に生還しました。終戦後は1946年に千葉市小中台町に設置された第一復員局留守業務局に臨時嘱託員として勤務し、その際現在の稲毛区園生町に下宿するなど、千葉市と関係のある作家でもあります。

- 5 観覧料 一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)  
※ 小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。  
※ ( )内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金。  
※ 前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて4月12日まで販売(4月13日以降は当日券販売)。  
※ ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18時以降は観覧料半額
- 6 関連イベント 展覧会に関連した展示や講演会、ワークショップを開催。
- 7 その他 本展のチラシ別添

#### 「生誕100年 清水九兵衛／六兵衛」報道機関向け披露説明会 開催概要

日時 4月12日(火) 15:00から  
場所 千葉市美術館 8階展示室  
内容 展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。

#### <本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 藁科英也、森啓輔  
広報担当 磯野 愛  
〒260-0013 中央区中央3-10-8  
電話 043-221-2311  
FAX 043-221-2316  
E-mail isono@ccma-net.jp